

2018年度

研究出版助成金受給者

公益財団法人

日本証券奨学財団

2018年度研究出版助成金受給者名簿

2018年3月31日

公益財団法人 日本証券奨学財団

出版代表者（著者）		研究出版物タイトル	出版形態	助成金額
福岡大学 法学部 教授	久保 寛展	格付機関の役割と民事責任論 —EU法とドイツ法の基本的視座	単著	100万円
成蹊大学 経済学部 教授	永野 護	新興国市場のファイナンス分析	単著	100万円
湘南工科大学 工学部 教授	平山 勉	満鉄経営史	単著	100万円
ニッセイアセットマネジメント株式会社 チーフ・ポートフォリオ・マネジャー ビジネス・ブレークスルー大学大学院 経営学研究科助教	山口 智弘	ファイナンスへの無形資産価値 評価モデル	単著	100万円
—————		4 件		400万円

（注）本表は辞退者を除いている。

（五十音順）

格付機関の役割と民事責任論
—EU法とドイツ法の基本的視座

著 作 者

福岡大学 法学部 教授

久 保 寛 展

著 書 の 概 要

現在、格付機関は金融資本市場のゲートキーパーとして市場に組み込まれ、簡潔な符号または記号（格付）によって証券の発行者自身や証券自体のリスクを表す。しかしこの格付が過去に正確性を適時に反映しなかった事実等が発覚した。格付機関はゲートキーパー的機能を果たすにもかかわらず、なぜこうした状況が生じたのか、本書はこのような疑問を出発点とし、主としてEU法とドイツ法を参考に、格付機関の歴史的経緯を含めその役割および民事責任の可能性を論じる。とりわけ民事責任の可能性につき、EU法では2013年の第二次変更規則で明文規定が設けられたが、ドイツ法における契約法理論からのアプローチも重要である。格付機関の役割を明確化し、これを基礎にわが国でも格付機関の民事責任論の展開が可能かどうか、EU法・ドイツ法を参考に検証する。

新興国市場のファイナンス分析

著 作 者

成蹊大学 経済学部 教授

永 野 護

著 書 の 概 要

本書は新興国をとりまく国際資金フロー、銀行システム、金融市場の仕組みを、マイクロデータを用い、分析を行った研究書である。2030年以降の、ポスト米国時代の国際金融市場の中心となる新興国市場の微視的構造を、4つの命題を解析することで明らかにしている。

満鉄経営史

著 作 者

湘南工科大学 工学部 教授

平 山 勉

著 書 の 概 要

本書は、「社員」と「民間株主」に着目して満鉄の経営史を描くという、筆者の20年来の試みをまとめたものである。前半の章では、課長級以上社員の一件一件の人事異動をまとめ上げたデータベースを分析するとともに、彼ら自身が執筆した論説をひもとくことで、社員によるマネジメントがいかに担われていたかを明らかにした。また、後半の章では、業務関係の一次史料を全面的に活用して、民間株主の行動を跡づけた。総裁や理事といった重役や政治権力ではなく、社員や民間株主に着目することで、満鉄経営の失敗と挫折を描き出すとともに、それらがどのように克服され、敗戦まで続く経営が可能となったのかを解明して、満鉄調査部に象徴される「絶対的巨人としてではなく、株式市場への対応を機敏かつ的確に行った株式会社としての植民地企業・満鉄の姿を浮き彫りにした。

ファイナンスへの無形資産価値評価モデル

著 作 者

ニッセイアセットマネジメント株式会社
ファイナンシャルテクノロジー運用室
チーフ・ポートフォリオ・マネジャー
ビジネス・ブレイクスルー大学大学院
経営学研究科 助教

山 口 智 弘

著 書 の 概 要

知識経済の進展に伴い技術・ブランド・人的資産など無形資産は、企業収益の源泉として重要性が高まっているが、その重要性と裏腹に「見えざる資産」となっている。本書で企業への投資のための運用指標・戦略につながる価値評価モデルを提示する。